

へいせい ねん がつ にち
平成29年3月2日

なかはましょうがっこうほごしやさま
中浜小学校保護者様

じょう とう く やく しょ
城 東 区 役 所

きょういくいいんかいじむきょく
教育委員会事務局

ほごしやせつめいかい へいせい ねん がつ にちかいさい ぎじろく
保護者説明会（平成29年2月14日開催）の議事録について

へいそ おおさかしせい くせい りかい きょうりょく たまわ あつ れいもう
平素は大阪市政、区政にご理解ご協力を賜り、厚くお礼申しあげます。

がつ にち かいさい がっこうてきせいはいち かん ほごしやせつめいかい
さる2月14日に開催いたしました「学校適正配置に関する保護者説明会」

ぎじろく さくせい つぎ おく
の議事録を作成いたしましたので、次のとおりお送りいたします。

き 記

1 そうふしりょう ぎじろく とうじつはいふしりょう がっこうてきせいはいち せつめいしりょう
送付資料 議事録、当日配付資料（学校適正配置パンフレット・説明資料）

2 といあわ さき じょうとうくやくしょ そうむか そうごうきかくたんとう おおや
問合せ先 城東区役所 総務課 総合企画担当 大谷

でんわ
電話 06-6930-9073

学校適正配置に係る中浜小学校保護者説明会の議事の概要について

日 時 平成29年2月14日（火） 19：00～19：45
場 所 中浜小学校 講堂
出席者 城東区役所 長瀬総合企画担当課長、大谷教育担当課長代理
教育委員会事務局 堀川学事課長代理
中浜小学校 保護者等 27名

◎区役所・教育委員会事務局からの説明

- 1 配付資料
別紙1、別添パンフレット

- 2 説明の要旨

（教育委員会事務局より）

- ・ 全国的に少子化が進む中、大阪市でもこの35年間で小学校児童数が半減しており、小学校の小規模化が進んでいる。
- ・ 小規模校については、「学校としてまとまりやすい」、「一人一人の学習状況を把握し、個別指導を含めたきめ細やかな指導が行いやすい」といった利点が期待される一方、「教育活動の幅が狭くなる」、「互いに切磋琢磨する機会が少なくなる」、「クラス替えができないことから人間関係が固定化する傾向にある」、「教員数が少なくなり、同学年の教員同士で指導方法等の高めあいができない」といった課題や制約が懸念される。
- ・ 教育委員会では、小規模校が増加する状況を受け、外部委員からなる「大阪市学校適正配置審議会」に意見を求めてきたが、平成22年2月の答申では、以下の考え方が示された
 - ◆ 11学級以下の小学校を小規模校として適正配置の対象とすること
 - ◆ 小規模化の程度により6つの段階に分け、より小規模な学校を優先して取り組みを進めるべきこと
 - ◆ 特に、複式学級を有する学校、児童数が120名を下回る学校については、速やかに取り組みを進めるべきこと
- ・ 中浜小学校は、平成28年5月1日現在で児童数213名、学級数7であり、6つの段階の⑥に該当する。しかしながら、平成29年度には全学年単学級となる可能性があり、そうなれば④に該当することとなる。
- ・ 中浜小学校では、小規模校としての制約がある中で、メリットを活かし、デメリ

ットを最小限にするためのさまざまな工夫を凝らしながら学校運営をされており、子どもたちは充実した学校生活を送っている。

- ・ しかしながら、中浜小学校において小規模な状況が今後も継続していくと予想されることも事実であり、この先、学校の工夫や努力では解決し難い状況が生じる可能性は否定できない。解決し難い状況が生じる前に、今後の中浜小学校のあり方について判断する必要があると考えている。
- ・ 一方、森之宮小学校においては、平成28年5月1日現在で児童数90名、学級数6であり、6つの段階の②に該当することから、中浜小学校同様、今後のあり方について判断すべき時期にあると考えている。

(区役所より)

- ・ 教育委員会事務局から説明があったように、状況は非常に厳しいものがあり、これ以上統合を待てないところまで来ていると考える。両小学校の児童数を考慮すると、中浜小学校であれば、大幅な校舎工事等を要せず、校舎建設のために運動場を減らす必要もない。そこで、場所については、中浜小学校の校舎と敷地を活用し、両小学校を統合する方向で検討を進めたいと考えている。
- ・ 学校配置の適正化を円滑に進めるためには、行政のみで進めることは適切ではなく、保護者や地域住民の理解と協力が必要不可欠である。子どもたちのより良好な教育環境を構築するといった観点で、地域・保護者と区役所、教育委員会が一丸となって取組みを進めていく必要があると考えている。
- ・ 具体的には、両校の保護者や地域の代表との意見交換や課題検討、保護者説明会等を通じての意見聴取等を行い、統合に向けた共通理解や課題整理、必要な準備等を進めていきたい。
- ・ このような検討・準備に必要な時間を考慮すると、平成31年4月に両校統合を目途に、検討・準備を進めたいと考える。

◎保護者からの意見と、区役所・教育委員会事務局からの回答

ただし、回答は当日お答えしたもののみ記載しています。他の質問・意見については、項目を整理したうえで、後日お示しする予定です。

- ・ ⇒ 保護者からの意見
- ⇒ 区役所・教育委員会事務局からの回答

※1 標準服や持ち物に関するもの

- ・ 統合後の制服（標準服）の扱いはどうなるのか。
 - 標準服については何らかの統一された取り扱いやルールがあるわけではなく、基本的には保護者の自主的な取り組みなので、行政からこうして

くださいと言うことはない。現在、両校児童は異なる標準服を着ているので、どうしていくのかということは、統合に向けての検討課題の1つとして挙がると思うが、過去の統合では同一のものにそろえるケースが多い。

※2 児童数、学級数に関するもの

- ・ まず、2年後を目途に、森之宮小学校と中浜小学校が統合するという話であり、現在の1年生から3年生が統合時期にいるが、中浜小学校の現状の人数と、森之宮小学校から来られる人数を合わせるとどれぐらいの人数になるのか。資料には森之宮小学校の全学年の人数が記載されているので、単学年の人数を教えてください。
 - 平成28年5月1日現在の森之宮小学校の各学年の児童数は、1年生が15名、2年生が12名、3年生が13名、4年生が22名、5年生が14名、6年生が14名、計90名である。
 - 中浜小学校と森之宮小学校を合わせた人数は、50名～60名程度2クラスに収まる程度の人数である。
- ・ 現在、例えば中浜小学校の4年生は約40名であるが、統合することで約60名になる。そうなった場合、今までよりは1クラス当たりの児童数は減るという理解で良いのか。その場合、担任を含めた教育環境としてはどういうふうに変わっていくのか。人数が多い方が教育環境としては良いのか、あるいは20名くらいの方が教員としてはやりやすいのか。その辺について聞きたい。
 - クラス数が多くなるという点でまずはメリットがあると考えている。あと、1クラス当たりの学級編制基準は40名であり、仮に60名であれば30名2クラスになるが、1クラスの人数が減った場合、子どもたちに使える時間が増えるという点のメリットはあるのではないかなと思う。一方で、学校規模そのものが大きくなる中で、活動の幅が広がるとか、今まで小規模校の少ない教員数の中で工夫や努力をしていた力を、別の部分に違った形で活用できるのではないかと考えている。
 - あくまでも、子どもたちに充実した学校生活を送ってもらうためのお話をしているので、良い教育環境を作っていくためのご意見をいただきたい。
- ・ 40名を超えると2クラスになるのか。
 - クラスを作る際の基準があり、現在、1年生と2年生は1クラス35名、3年生から6年生は1クラス40名なので、40名を超えると2クラスになる。

※３ 施設面に関するもの

- ・ 森之宮小学校は耐震強度がかなり促進されていて、安全性が高いという人もいるが、中浜小学校も耐震対策を講じているのか。校舎の安全面についての考え方を聞かせてほしい。
 - 校舎の安全面であるが、先程、工事を必要とせず、速やかに統合を図ることができるということで、中浜小学校へという方針を説明したが、当然、何もしないということではなく、校舎の状況を見ながら、あるいは皆さんのご意見を聞きながら、できることとできないことはあると思うが、必要なことはきっちりと対応させていただく。また、特別支援学級に通う児童もいるので、配慮が必要な部分については対応したうえで、平成３１年４月を迎えたいと考えている。耐震工事は完了している。

※４ まちの開発に関するもの

- ・ 森之宮の焼却施設のところが集合住宅に変わり、森之宮小学校がそこに住む小学生の受け皿になると聞いていた。森之宮小学校の児童数が増えた場合に、どの程度まで中浜小学校で受け入れることが可能なのか読めないが、あの跡地は用途が決まっているのか。
 - この間、焼却工場の予定地であったところの活用について議論があり、我々としても、あの場所で大型マンションが建ち、児童数が増えれば、まちづくりの観点から良い方向に進むのではないかとということで、要望等を関係局に挙げ期待もしていたが、今の時点ではまだ具体的な動きが見られない。そのような中、先程説明した森之宮小学校の児童数の状況などを考えると、これ以上不確定な期待を持って待つことは、タイミングを逸してしまうのではないかとすることがあり、このタイミングで具体的に平成３１年４月に向けてという方針を出させていただいたところである。
- ・ 大きなマンションが建てば、統合をやめますということになるのか。何も決まっていない不確定な状況で、統合計画だけを進めて、蓋を開けたらやっぱり何もしませんというふうにならないのか。
 - 中浜小学校の校舎の使い方については校長との相談になるが、必要な教室数を確保し、少なくとも、児童が多すぎて統合できないということにならないようきっちりと対応させていただく。
- ・ ごみ焼却場の話で、結論が出る時期のめどについてはどうなのか。
 - 方向性が示される時期については、今は具体的にはわからない。仮にその方向性が出たとしても、実際にどのようなものが建つのかや、仮にマ

ンションが建つとしてもどのような方が入居されてくるのかを考えると、仮にとんとん拍子で進んだとしても、児童数が増えてくるとしても、かなり先の話になるのではないかと考えている。

- ・ 仮に、そのかなり先になった時に、中浜小学校での受け入れが難しくなることはあり得るのか。
 - 仮定の話なので回答しにくいですが、その時の状況に応じて最適な対応を取ることになる。

※5 学校適正配置と本市の財政事情に関するもの

- ・ 今回の統合の話は、我々子どもを預ける立場としては、行政の効率化の一環で、使うお金を減らすために統合するという考えであれば、正直賛成できないと思っている。そこはしっかりと理解してもらったうえで、環境整備もきっちりしてもらいたい。
 - 財政的な理由で適正配置に取り組んでいるわけでは決していない。あくまでも、児童数が減少する中で、学校の教育環境はどうあるべきかという視点で皆さんと対話している。統合後の学校の教育環境がどのような姿になるのかというところを、皆さんとしっかり議論したいと考えている。

※6 統合に向けてのプロセスに関するもの

- ・ 今回の説明は「学校配置の適正化について（案）」とのことだが、いつの段階で（案）ではなく正式決定となるのか。
 - 先ほど申しあげたとおり、保護者の皆さん、地域住民の皆さんに十分ご理解いただきながら進めていきたいと考えており、本日は行政からの案としてお示しした。これに対するご質問に答えながら、中浜小学校区、森之宮小学校区のそれぞれで、統合に向けての共通理解を深められるよう説明していきたいと考えている。一定ご理解が深まった段階で「案」が外れるものと考えている。
- ・ 今後のスケジュール感や、このような説明会の開催予定は決まっているのか。
 - 本日いただいたご質問の中で、十分お答えできなかった部分については、あらためてこういった場でご説明させていただく必要があると思っっている。具体的な日程は未定だが、両小学校での議論の状況を見ながら、必要に応じて適宜開催することになる。